

橋梁上部工向け測量システム 【DX BridgeSurveySystem】

概要

自動追尾型TSとお手持ちのスマホ・タブレットを使用し現場での測量を誰でも手軽に！日々の計測作業はもちろん橋梁出来形計測（全長・支間長・通り・そり）に対応！帳票作成までを簡単に行います

POINT 1 橋梁出来形計測に対応！

日々の計測作業はもちろん橋梁出来形計測(全長・支間長・通り・そり)に対応！各項目ごとに計測～帳票作成まで簡単に行うことが可能です。

POINT 2 全作業をワンマンに！

現場データと座標値(CSV ファイル)を事前に転送し出来形計測・杭打ち・高さ確認等すべてワンマンで行うことが可能です。

また、座標変換機能を搭載しているので公共座標からローカル座標に変換することも可能です。

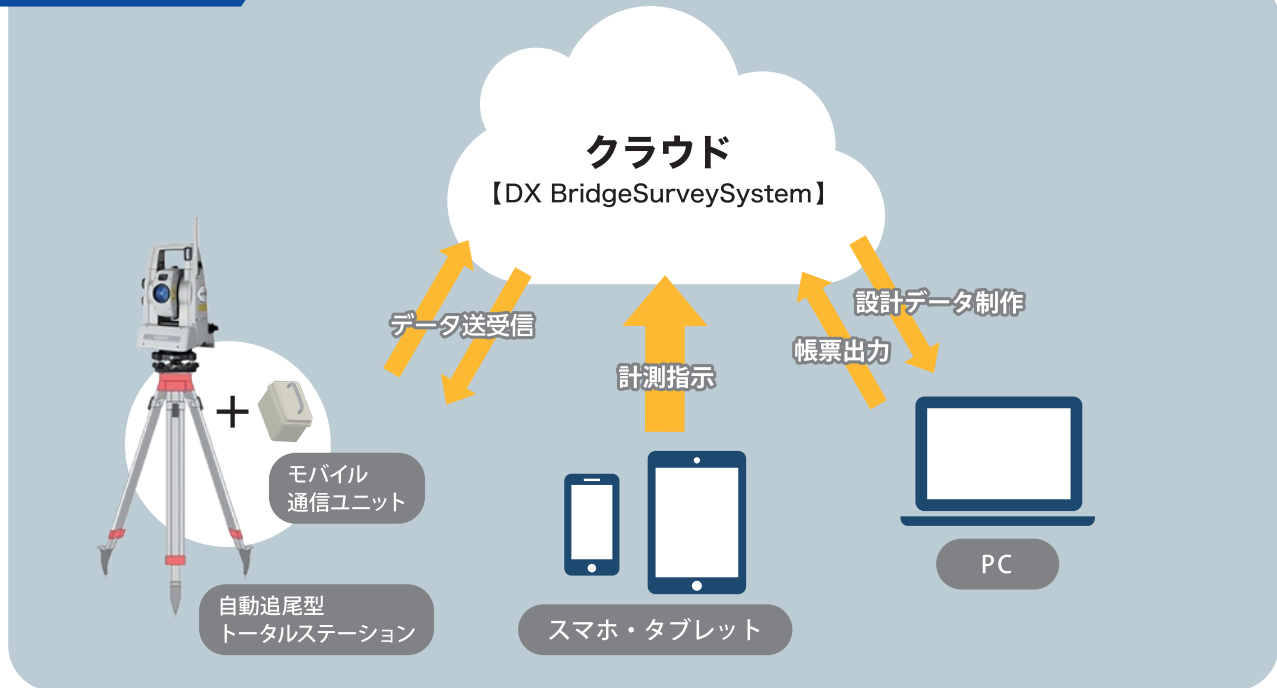
POINT 3 帳票作成・データ管理が簡単に！

各項目の出来形帳票をボタン一つで出力することが可能です。

また、計測データ・設計データはクラウドにて一括管理が可能なので現場での負担を減らし労働生産性向上に役立てます。



システム構成



画面イメージ

The screenshots show the following screens from the Bridge Survey System:

- Main Menu:** Fields for 現場名 (CFTデモ), エリア (Aエリア), 使用TS (00001:DX), TS位置 (後方交差), BS点 (起1, 終1), and 設定日時 (2023/03/24 15:25). Buttons include 現場管理, TS位置, 放射測量, 出来形測量, 位置出し測量, 比高差測量, and ログアウト.
- 現場管理:** Fields for 現場名 (CFTデモ) and エリア (破線デモ). Buttons include 位置出し, 1-5, and 0.49.
- 測点選択 (Point Selection):** A table showing design and actual coordinates for point G1L_C16.

設計 m	実測 m	差 mm
X 82.0062	79.7231	-2283.1
Y 11.0007	11.3775	376.8
Z 30.1970	30.7529	555.9
- 測点リスト (Point List):** A table listing points G1L_S1 through G1L_C5 with their X, Y, and Z coordinates.

測点名	X (m)	Y (m)	Z (m)
G1L_S1	1.8939	-0.8498	26.1190
G1L_C1	5.1721	2.2304	26.4030
G1L_C2	8.6904	5.0560	26.6850
G1L_C3	12.4175	7.5997	26.9620
G1L_C4	16.3310	9.8463	27.2350
G1L_C5	20.4071	11.7821	27.5050

機能紹介

放射測量

新点を追加する測量が可能

出来形測量

設計データを基に高さを測量
その場で確認が可能

位置出し測量

登録されている測点の墨出、
位置出し測量が可能

比高差測量

登録されて基準ポイントからの
高さ (Z座標値) の差分を計算可能

橋梁出来形

橋梁の全長・支間長・通り・
そりの測量が可能



千代田測器株式会社

TEL 03-3833-2016 FAX 03-3835-9273

<https://chiyodasokki.com>

HP QRコード

